

WITH

Arisawa Communication Magazine

Vol.20
2019 December

WITH

Vol.20 2019 December

発行日／2019年12月1日

発行／有澤建設株式会社 広報委員会

福岡市博多区博多駅南4-4-12

Voice of the top

他責と自責



ラグビーワールドカップ2019での日本代表の活躍は見応えがありました。選手の真剣さが画面から伝わり、試合ごとに応援する熱が上がってきたように思います。その日本ラグビーの礎ともなる2015年大会で日本代表が南アフリカ代表からあげた「奇跡の勝利」はまだ記憶に新しいと思います。当時の日本代表のヘッドコーチは、今大会でイングランド代表を準優勝に導いたエディ・ジョーンズ氏でした。先日、日本代表時代のジョーンズ氏のインタビュー映像を見る機会がありました。彼は2003年大会ではオーストラリア代表のヘッドコーチを務め、イングランド代表との決勝に進出。延長戦までいくも惜しくも3点差で敗れました。それが非常に悔しかったと語っていましたが、その後ヘッドコーチを更迭されるなど「ジョーンズのコーチ業は終わった」などと酷評される時期もあったそうです。しかし彼はその後、徹底的に自分に向き合い、敗退の原因を自分の中に探したそうです。ここに彼の現在の偉業につながるポイントがあるのだと思います。敗退の原因をチームメンバーや天候など外部の責任にすることは容易いのですが、残念ながらそれら外部を変えることは簡単ではありません。彼は自分の中にある原因をストイックに探り改善させて、「勝てるチームを作る自分」へ変革を起こしたのです。

本年4月より当社でも新規プロジェクトとして新たな取り組みを始めました。（それぞれの活動は本誌14ページに詳しく掲載させていただきましたので、ぜひご覧ください。）イノベーションに取り組む新規プロジェクトを見て思うのは、イノベーションとは問題発見力であり、問題を発見するためには自分事として物事を見なければ本質的な問題が見えてこないということです。新規プロジェクトとは誰も経験がない未知の領域に踏み出す必要がありますが、上手くいかなかったり、成果が見えないだけでなく、途中で目的を見失うことさえあります。そんなときに出来ない原因を外部要因に探すのではなく、あくまで自分の中に見つけることが物事の変革、延いては自分の変革に繋がるのだと信じます。いかなる時も「自責」の眼を持った変革者であること。そんな社員が今後さらに増えることが、有澤建設が発展し永続できる条件になってくるのではないのでしょうか。

代表取締役 木下 英資



有澤建設が目指す新たな「創造」
始動！ 産学連携プロジェクト

特別
企画

九州産業大学生 × 有澤建設
「空想建築」



建物概要

◎リアンプレミアム博多駅前ビル

用途：店舗・事務所

竣工年：2019年

建築地：福岡市博多区

構造：鉄骨造

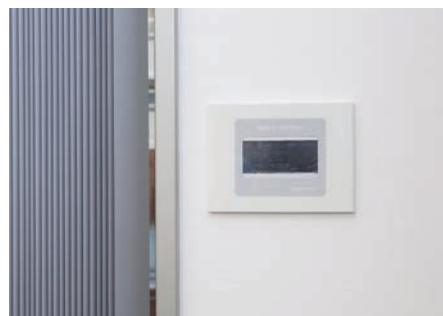
規模：地上9階



エントランスからエレベーターホールまでのアプローチ



共用トイレの使用有無を示すサイン



入居者の快適性を高める電動式ブラインド

る付加価値にこだわっています」
そのデザインを象徴するガラスは熱線反射性能を持つものを用い日差しの量を抑えて冷暖房費を削減する上、外から室内が見えないようプライバシーを確保。各フロアは柱を意識させない構造にし、天井に設置する空調機器も天井内部に収納して開放感あふれる空間を実現させた。さらに、電動式ブラインドや室内にいても共用トイレの使用有無がわかるサインを設けるなど、入居者の快適性を高める工夫も施している。そんな配慮が奏功し、入居の問い合わせが相次ぎ、すでにビルは満室の状態だという。なかでも三明氏が満足したのがエントランスからエレベーター

ターホールまでのアプローチ。「敷地は緩いカーブを描く交差点に面した変形地でビルの形状が複雑なのですが、1階に店舗スペースを設けたため上階に向かうエレベーターのホールまで、店舗スペースを回り込む形で通路を造らなければなりませんでした。その通路が暗い雰囲気にならないか心配しましたが、明るくすっきりした印象に仕上げていただき、よろこんでいます」
お客様満足を厳しく追求する株式会社リアン。その要求に技術で応える有澤建設。両者のコラボレーションによって生まれた高付加価値ビルは福岡の街をさらに活気あるものにしていくだろう。



いつまでも新鮮さを放ち、実用性の高さを追求
収益を生む付加価値のあるオフィスビル

リアンプレミアム博多駅前ビル

現場監督からひとこと

本物件は、正面がカーテンウォール(ガラス張サッシ)のデザインを採用しています。私は、過去にもカーテンウォールの施工経験がありましたが、本物件のように大規模なモノは初めてでした。事前に綿密な計画や検討を経て、施主様の協力もあり無事竣工することができました。

工務部 主任
御船 裕之

【休日の過ごし方】
休日は趣味のカレー作りをしています。人柄もカレーもスパイスの効き方が肝心です。



開放感溢れるオフィス空間



株式会社リアンの三明真二氏

福岡市の陸の玄関口・JR博多駅から徒歩約5分。九州を代表する複合施設キャナルシティ博多にも近い好立地にこの夏、「リアンプレミアム博多駅前ビル」が誕生した。ビルは9階建て。壁面にガラスを多用したデザインがシャープな印象を与え、周囲に建つビルのなかでも一際、存在感あふれる。
手がけたのは福岡と東京首都圏を中心に不動産開発を行う株式会社リアンだ。このビルのプロジェクトリーダー、三明真二氏は「昨年、有澤建設さんの施工でこのビルの近くにリアン博多駅前ビルを建てたのですが、その仕事ぶりにとっても満足していたので今回も依頼しました」と話す。「私たちが求めるのは年月を経ても収益を生むビル。そのため、新鮮さを失わないデザインと入居者選ばれ

Arisawa
New
Construction

新築物件紹介

1



建物概要

◎ロクラス博多

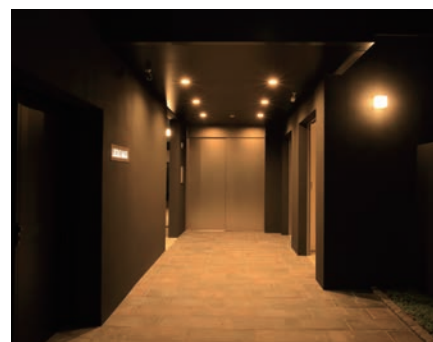
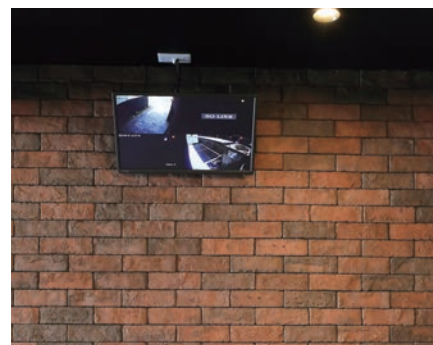
用途：共同住宅

竣工年：2019年

建築地：福岡市博多区

構造：鉄筋コンクリート造

規模：地上5階



エントランスのシルバーの扉は近未来をイメージしたもの



3色のオリジナルタイルが印象的な外観

現場監督からひとこと

施主様の提案で独自デザイン(オリジナル)を各所に採用しました。外壁の貼付けパターンや室名札・インターホンカバーを兼ねた金物など、ロクラス博多にしかない仕上りとなっています。私が今まで携わったプロジェクトの中で特に心に残る建物となりました。

工務部 所長
西村 直樹
1級建築施工管理技士



【休日の過ごし方】
10月に東峰村の民陶祭へ行き、陶器のグラスを妻に買ってもらいました。毎日の晩酌がおいしくて堪りません。

クロックを実現。実際の部屋以上の広さを感じられるゆとりと、生活空間に影響しない収納力を兼ね備えた1LDKが生まれた。

今回、現場の工事を指揮したのは有澤建設の西村氏。当初、外壁には2色のタイルを使用する予定だったが、単調なデザインになる懸念があったため同社から色を増やしたいという要望があった。しかし、メーカーにある色は2色のみ。西村氏はそれでも諦めずメーカーと交渉し3色のオリジナルタイルを準備してもらった。『プランニング・ファクトリー』さんの意匠へのこだわりに応えたいと思い粘り強く交渉しました。結果的に予算内で収まった上に、エッジの効いた外

観デザインに仕上げることができました(西村氏)。

無事に竣工した建物を見つめ、同社で賃貸マンションの企画を担当する岩下氏は約8カ月に渡った工事を振り返る。「こちらの要望に対して『できない』と言う業者さんは多くいますが、有澤建設さんは一度要望を検討してくれるし、時にはその場で代案を提案してくれる。この外観デザインは有澤建設さんの協力なしには実現できませんでした(岩下氏)」。

博多駅で働く若い世代の住まいの受け皿となり、この建物「LOCUS(場)」が、博多の街の「CRAS(明日)」を支えるに違いない。



実際の部屋以上に広さを感じる1LDK。収納力も高い



快適性と利便性を兼ね備えた
賃貸マンションが博多南エリアに完成。

ロクラス博多

JR博多駅からほど近い博多駅南エリアに9月、「ロクラス博多」が竣工を迎えた。レング調の外壁タイルをあしらった外観はブルックリンの建物をイメージしたものだ。

同ビルのプロデュースを手掛けたのは、株式会社プランニング・ファクトリー。同社は企画にあたり現地のニーズを分析し、入居者のターゲット像を博多駅周辺で働く単身者に、展開する間取りを1LDKに設定した。コンセプトは「若い男性や女性単身者に愛されるデザインと住みやすさ」。それが入居者の快適な暮らしはもちろん、街の魅力を高めると考えた。

特に同社がこだわったのは、1LDK空間の中の快適性と利便性。単身者が重視する「ネット環境」や「バストイレのセパレート」はもちろん、スリッパケースなどが置けるシューズ



株式会社プランニングファクトリーの岩下大祐氏

お引き渡しした物件の
その後をお聞きします！

ありた所長が探る

成功の要因は ココだ！

福大周辺
エリア篇
01



有澤建設イメージキャラクター
ありた所長

安心安全・高級志向を打ち出し、
常に満室の学生向けマンション。

西日本屈指の学生数を誇る私立総合大学、福岡大学が
立地する福岡市城南区七隈。2005年に福岡市営地
下鉄七隈線が開通し街並みの整備も進んだことで、よ
り賑やかな学生の街へ変貌している。発展が続くこの
地で、高級路線に特化した学生専用マンションを展開
する有限会社西部ハウス代表取締役、本村純次氏にそ
の背景と成功の秘訣を伺った。

ありたが、
インタビューさせて
いただきます！



高級感とセキュリティを兼ね備えたエントランス

学生向け賃貸マンションを
七隈エリアで建てる
理由をお聞かせください。



少子化で学生数が減っているといわれていますが、2万人近い学生さんが学ぶ福岡大
学周辺であれば賃貸マンションの需要は必
ずあります。さらに、学生さんは延滞金が発
生するといったトラブルも少なく安心感が
あります。

七隈周辺は地下鉄が開通して以降、主要道
路は拡張され新しい建物ができるなど、ここ
10年で街はずいぶん変わりました。天神な
ど、市中心部へもアクセス良好で便利なので、
ニーズはまだまだあると見込んでいます。



扉を開放すると広いスペースが確保できる

御社のマンションは常に満室
と伺いますが、その要因は
どこにあるのでしょうか？



バスルームも広めでゆとりがある

2017年に竣工したシェルト七隈は、
オートロックを採用するなどセキュリティ
面に万全を期しています。また、一般の学生
向けワンルームに比べてゆとりある広さを
確保し、収納やキッチンのIH家電、
Wi-Fi設備や自動式室内物干しなど、
住む人の身になって考えた充実した設備が
特徴です。

少し贅沢に感じるかもしれませんが、娘
さんを大学に送り出す保護者の方や、落ち
着いた環境で勉強に集中したい薬学部や医
学部学生さんには、多少賃料が高くて
もこのようなマンションを選ぶ方がいらっし
やいます。さらに、駅や大学に近く、管理が行
き届いた物件であればとても魅力を感じて
もらえるはず。賃料に対する納得感があれ
ば必ず選んでもらえます。

マンション経営を
成功させる秘訣を
お教えください。



良い土地を選ぶことです。しかし、駅に近
く、図書館や文化施設が近隣にあるといった
限られた条件の土地を手に入れるのは難し
くなりました。同業者間の競争も激しくなっ
ているので、日頃から情報を収集し建て替え
できそうな古い建物を見つけたといった努力
は欠かせません。

建設段階に入ると、内装のクオリティと、
住宅設備に何を取り入れるかは厳しく
チェックしますが、建物設計や外観は建築会
社に任せます。知識と技術を持ったプロに任
せた方が安心だし、竣工までスピードデー
に進むからです。特に有澤建設さんは地形に
関する制限や建設の際の近隣の方への配慮
など、細やかな点まで気を配り良いものを建
ててくださるので、とても信頼しています。



IHコンロを採用して安全面を考慮

コが重要！チェックポイント！！

ポイント①エリア選定がとにかく大事！

博多駅までの延伸が予定されている地下鉄七隈線七隈駅周辺を選ばれたのは、目利きが素晴らしい！

ポイント②住人の心を知りつくす！

他社物件と差別化を図り、洗練された内外装、最新設備や効率の良い間取りで
ワンランク上の建物入居者や保護者様もご納得がいく物件になっている！

有澤建設は長年の賃貸マンション経営のサポート実績を活用して、
ご検討中の施主様が納得いただけるプランをご提案いたします。



今回のポイントをまとめると…



本村純次氏

建物概要

◎シェルト七隈

用途／共同住宅
竣工年：2017年
建築地：福岡市城南区
構造：鉄筋コンクリート造
規模：7階建



お引き渡しした物件の
その後をお聞きします！

ありた所長が探る

成功の要因は ココだ！

福大周辺
エリア篇
02



有澤建設イメージキャラクター
ありた所長

相続物件を賃貸マンションに建て替え
家賃収入が加わり安定した暮らしへ。

福岡大学に隣接し、落ち着いた住宅街が広がる城南
区片江。街南部を走る福岡外環状道路(国道202号)
沿いに2018年、白と茶を基調とした4階建てのモ
ダンなマンションが完成した。ご自身が経営する店舗
やテナントスペース、賃貸マンションに自宅が一体と
なった「パインテールKII城南」のオーナー、松尾敏幸氏
にマンション経営を始めた経緯と手応えを伺った。

ふたたび、ありたが
インタビューさせて
いただきます！



オーナーが経営する理容室も併設

建物概要

◎パインテールKII城南

用途／共同住宅
竣工年：2018年
建築地：福岡市城南区
構造：鉄筋コンクリート造
規模：4階建

「ご自宅を賃貸マンションに
建て替えたきっかけを
お聞かせください。」



両親が他界し、自宅と別棟に経営する理容
室の土地建物を相続しましたが、自宅が老朽
化しており建て替える必要がありました。家
族との話し合いや友人への相談を重ねる中
で、自宅に賃貸マンションを併設する案が浮
上りました。建築費をすべて借入金で賄った
め大きな負債を抱えることになりましたが、大
学が近く交通の便がいい場所なので、問題な
しと見込みました。

そこで、銀行と話し合い、建築会社3社からプ
ランを出してもらうことにしました。戸建て
から木造アパート、鉄筋コンクリート造りのマ
ンションまで、さまざまなものを提案してもら
いましたが、家賃収入の見込みと返済額のバ
ランス、ランニングコストなど、総合的に見て
一番現実的だったのが有澤建設さんでした。1
階が店舗とテナントスペース、2階が自宅、
3・4階が賃貸マンションというものでした。



松尾敏幸氏



オーナーの希望で実現した広いベランダ

建築後1年が経ちますが、
入居者の反応やご自身の
感想はいかがですか？



完成時期が春の入居シーズンを過ぎてい
たので半年くらい満室になりましたが、
が、それ以降は順調に推移し、今は満室の状
態が続いています。賃貸部の内装や設備はほ
んど有澤建設さんにお任せしましたが、
シンプルで機能的な部屋に仕上がっており
入居の方には好評です。理容店も使い勝手よ
く造っていただき、とても満足しています。
一方、自宅にはこだわりが強かったので、リ
ビングの位置やベランダの広さなど、かな
りリクエストを出しました。大変だったと

建て替える前と現在では
マンション経営への
考え方は変わりましたか？



思いですがイメージを超える仕上がりで、
とても喜んでます。

場所が良いという条件はありましたが、賃
貸マンション経営の経験もなく、最初は不安
でいっぱいでした。しかし、銀行や不動産会社、
有澤建設さんからたくさんアドバイスをいた
だき、安心してスタートできたと思います。
おかげさまで理容室収入に家賃やテナント
収入が加わり、安定した生活ができるよう
になりました。返済金がありますが、入居状
況も良く、今後もゆとりある生活設計を立
てることができそうです。良いマンションを
建ててくださって感謝しています。



家族が集うリビングは22畳

コが重要！チェックポイント！！

ポイント①マンション経営のプランは一つだけではない！

有澤建設では施主様のニーズをくみ取り、複数の独自のプランをご提案しています。さらに建物の規模、プラン、施主様の使用用途などをひとつひとつ形にしていき、実感いただくことを心がけています。

ポイント②資金計画は特に大切！

よほどの場合を除き、銀行借入れによる資産活用をされる施主様がほとんどです。有澤建設では銀行が納得いくプラン、かつ、想定を下回る結果が発生した場合のリスクヘッジを考え、安心して資産活用できるプランが最も大切であると考えています。現実路線で収支のバランスを安定させる計画であれば、安心して経営できますね。

今回のポイントをまとめると…





2 搬入
今回、搬入された鉄筋は1フロアあたり計50t。職人1人で70kg近くの鉄筋を担ぐこともある。



1 打ち合わせ
現場監督と図面を見ながら建物の基本構造を確認。現場に必要な鉄筋を算出し工場に発注する。



3 施工
現場には、格子状に規則正しく組み上げられた鉄筋が張り巡らされる。1本でも手順を間違えると鉄筋は正しく組めない。



4 自主検査
施工が完了したら、鉄筋が設計書通りに組み立てられているかを検査する「配筋検査」をクリアしなければならない。

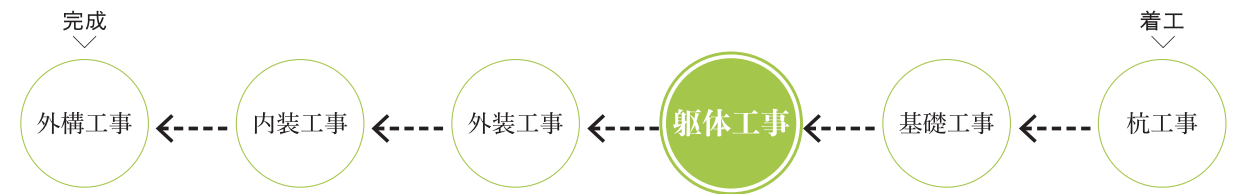


一枚の設計図から
数万本の鉄筋を描き出す
想像力の「鉄」人。

Theスペシャリスト

熟練のワザ

【鉄筋職人】



※上記の流れは鉄筋コンクリート造の建物の場合です。



有澤建設の建設現場を影で支える様々な職人を紹介する「Theスペシャリスト」第四回目のテーマは、建物の構造体の骨格を組み立てる「鉄筋職人」。今回は株式会社樋口工業の久米賢太郎氏の仕事に迫る。

鉄筋の設計図は「想像力」で描き起こす

「建設現場の基礎が完成すると工事はいよいよ建物本体へ移行する。その最初の工事を担うのが鉄筋工事だ。人間の体で言えば、骨にあたる鉄筋。建物の基本構造を形づくる鉄筋の数は、一つの現場で数万本以上も使用され、総重量は数百トン以上に及ぶ。鉄筋職人の仕事は、その一本一本の形状や長さを細かく拾い出していくことから始まる。設計士から上がってきた図面を見ながら、建物の構造上必要な鉄筋をイメージし「加工帳」と呼ばれる帳簿に記して工場へ発注する。「鉄筋職人に必要なものは、とにかく想像力に尽きますね。我々は平面の設計図に、頭の中で立体化した鉄筋を描き起こします。それには設計図に込められた設計士の意図も読み取る想像力が必要です。さらに、工場に鉄筋を発注するときは、工場が無理なく作れる仕様か、現場の職人さんたちが使いやすい形状か、というところまで想像を働かさなくてはなりません（久米氏）」。

建物を支える骨組みは、現場で何度も繰り返される鉄筋職人の想像によって支えられているのだ。

強固な骨格を作るのは強固なチームワーク

工場で作られた鉄筋が現場に搬入されると、今度は鉄筋

を組み上げていく工程に入る。一本一本の鉄筋を格子状に重ねて建物の骨格となるフレームを作るその作業はすべて手作業。組み方には規則性が求められるため手順を間違えると最初からやり直しになってしまう上に、鉄筋が一本でも不足するとその後の検査で工事が中断し、工期が延びる原因になってしまふ。その作業を現場の限られた人数で、効率よく段取りするのも鉄筋職人の仕事だ。「職人さんは個性の強い方が多いので、その職人さんそれぞれの強みを生かせる作業の段取りを付けると現場はスムーズに進行します。あとは現場の雰囲気も大事ですね。職人さんたちが気持ちよく仕事ができるよう現場の空気を盛り上げるのも自分の大切な仕事です（久米氏）」。

訪れた現場では、美しく組み上げられた鉄筋の層が、完成する建物の青写真を写し出していた。

現場監督からひとこと



企画工務部 次長
和田 将人
1級建築施工管理技士
七五三の行事も無事に終わり、息子と自転車の練習に励んでいます。

樋口工業さんは、職人さん一人ひとりの作業精度が高いのでいつも安心して仕事を任せられます。今年の夏は猛暑だったので、職人さんたちの人員確保や作業パフォーマンスを懸念していましたが、工期に遅れることなく高いクオリティで現場を仕上げてくれました。効率を上げるため有澤建設の現場専属の検査師を配置いただくなど、きめ細かな対応にも助けられています。

Act.1

空想した建築物

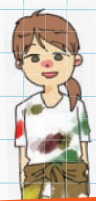
移動できるシェアハウス『体感するアトリエのある家』

空想のポイント

最近は大学外で受講するオンライン授業も増えています。未来ではきっと現地に行かずに体験することがあたり前になっています。それでも自分で体感して感じる事が大切だと考えた私たちが空想したのが「移動できるシェアハウス」という発想による「体感するアトリエのある家」。その窓から見る風景を、住人である芸術を学ぶ未来の大学生の視点で描きました。

はじめまして。私は20XX年に生ける芸大生です。2019年に生ける皆さんに、未来の世界で活躍しているクリエイターのための家を紹介します!

絵画専攻のOさん



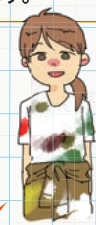
Act.2



シェアハウスはトレーラーと一体化しており移動が可能



移動できるシェアハウス『体感するアトリエのある家』には、**全面ガラス張りの作業部屋**があり、私は部屋から見える景色をキャンパスに絵を描いたり、移動先の各地で個展を開いたりしています。



『体感するアトリエのある家』は**自分の欲しい部屋を選ぶ**ことができます。

自分の欲しい部屋を選ぶ



居室 LDK ホール 作業部屋

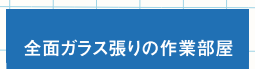


様々な部屋の組合せ、取外しが可能



居室

LDK



全面ガラス張りの作業部屋

鏡張りのホール

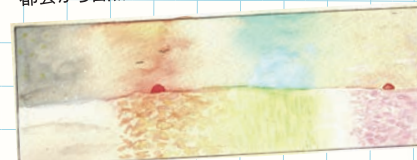
Act.3



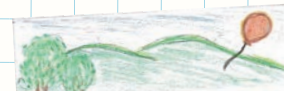
雪景色にクジラを描いてみる



都会から自然へ



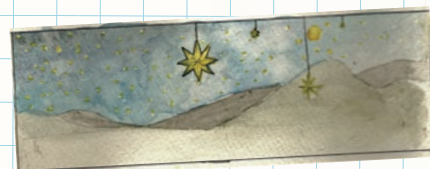
日の流れを感じる



山を眺める



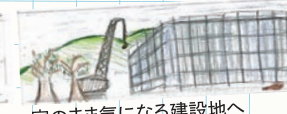
家のまま大学へ



部屋から見る星降る夜



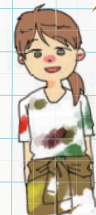
自然の景色に魚の絵を描いて個展を開く



家のまま気になる建設地へ

私が見ている風景

私のほかに建築、演劇、ダンス、デザインを学ぶ学生とシェアハウスをしています。建築を学んでいるS君には、また**私とは違った景色が見えている**そうです。



建築学部S君

S君が見ている風景

空想のポイント

「体感するアトリエのある家」から見える風景は住人の興味・関心で異なりますが、それぞれの**風景は友人と共有**することもできます。

あったらいいなをカタチに!

空想建築

九州産業大学生 × 有澤建設

WITH Vol.20
発行記念

特別
企画

新鮮な視点や考え方を持つ九州産業大学生と協同で
建築物の未来を考える課題に取り組みました。

テーマ

未来の大学生の住む家

【概要】ネット環境が益々良くなっている昨今。学校の授業もオンラインで受講できる環境はすでに整っており、それを行っている学校も続々と登場しています。そんな環境が進んだ未来の大学はどんな状態なのかを想像し、その大学生が住む家について学生とアイデアを出して行きます。

大学生参加メンバー



九州産業大学
商学部商学科 3年
木下 亜望さん



九州産業大学
建築都市工学部住居・
インテリア学科 3年
佐々木 里奈さん



九州産業大学
芸術学部生活
環境デザイン学科 3年
越智 愛美さん

何度も何度も
話し合いを重ねて
完成させました!



有澤社員4名、学生3名のプロジェクトでしたが、私が代表して感想をコメントさせていただきます。

今回のプロジェクトの感想

今回の協同プロジェクトではディスカッションの中で学生の皆さんから斬新なアイデアが次々として出てきて、とても楽しい時間でした。私は工務担当で、いつもは建築現場での管理が主な職務ですが、このようなプロジェクトを経験することは新しい視点での考え方が出来るという点で、とても良いと感じました。
ご協力頂いた学生の皆さん、ありがとうございました。



企画工務部
堤 昭文

有澤建設で最近話題になった様々な出来事をご紹介します。

始動! 産学連携プロジェクト

01

福岡女子大協同プロジェクト

現在、福岡女子大学(国際文理学部 環境科学科 若竹 雅宏教授)と提携した産学連携プロジェクトを進めています。福岡女子大学3年生の課題授業の中で、弊社の保有物件の一つであるマンションを対象に、学生と社員がタッグを組みリノベーション計画を進めていきました。まず学生の皆さんには実際に現地に行って、建物やその周辺状況を調査してもらいました。そして講義の中で、学生から出してもらったアイデアに対して意見交換を行い、それぞれのポートフォリオを制作。『男性のためのシェアハウス』や『子供が集まる絵本広場』など、それぞれのプランがしっかりと練られおり、仕上がりのレベルの高さに私たちも驚かされました。このプロジェクトはまだ続きます。



02

九州産業大学生インターンシップ

九州産業大学商学部2年生4名をインターンシップとして受け入れました。まずは有澤建設を知ってもらうために過去の竣工物件を巡り、実際に作業着やヘルメットを着用した現場体験してもらいました。さらに今回は商学部の学生ということで、現場の仕事以外にも様々なことにチャレンジ。その一つとして営業社員が企画の提案から受注、着工までの一連の流れを説明後、学生たちに空き物件の有効活用をテーマにプレゼンテーションしてもらいました。昼食時には社員が手製のお好み焼きを振舞うなど様々な交流をする中で、日ごろはなかなか聞く機会のない学生の意見を聞くことができ、私たちにとっても大変意義のある場となりました。



03

広報委員会と九産大生 WITH協同制作

今回の広報誌「WITH」(本誌)の制作スタッフとして、九州産業大学の3年生3名に参加してもらいました。まず初めに過去の「WITH」を読んだ上で意見を出し合い、今回はより多くの方に楽しんでもらうことができるよう、『あまり建築に興味がない人でも手に取るような広報誌』を目指すことに決めました。学生に担当ページごとのサブリーダーを務めてもらうなど、社員と一緒に企画・立案を行いました。社員紹介のページでは実際に学生に取材してもらったほか、『空想建築』のページは学生主体で制作しました。学生は発想力がとても豊かで、斬新な意見が多くこれまでの「WITH」とは少し変化のある広報紙になりました。



有澤建設のブログも要チェック!



直撃! インターン生が有澤社員に聞きました!

このページでは、インターン生が有澤建設の社員をご紹介します。

企画工務部
藤吉 雄司

- 入社3年目
- 現在、和田所長の下で賃貸マンションの新築工事の現場管理を担当しています。

Q. 今後の目標は何ですか?

まずは一級施工管理技士の資格を取ろうと今勉強しています。また、今は鉄筋コンクリート造の建物しか扱っていないので鉄骨造など他の構造体もやってみたいです! ゆくゆくは所長にも…。

Q. 休日の過ごし方は?

うーん、最近はゲームをしていることが多いですね。四時間くらいやっちゃいます。あ、現場の職人さんとするともありますよ。あとは友達とサバイバルゲームに行ったりご飯に行ったりバスケしたり。なんだか遊んでばかりみたいです。ちゃんと隙間時間に資格の勉強もしていますよ!

Q. 有澤建設に入社した理由は?

有澤の協力会社の方からの紹介と直感です! (笑)

Q. 入社しての感想は?

居心地がいいですね。正直、男臭いと思っていたけれど、若い人が多く、他の社員とも関わりやすいですね。

Q. 仕事のやりがいは何ですか?

建物がだんだんと出来上がっていく様子を見るのが好きです。元々何もない場所だったところに建物が建ち、足場が取れて外観が見えてくるところが特に好きです。

Q. 日々の業務内容は?

工程管理や品質管理、安全管理を行っています。工程管理はスケジュール管理をイメージしていただくと分かりやすいかもしれません。例えば工事が工程表通りに進んでいるか、建物が図面通りに建っているか、安全に作業ができていないかを確認しています。

藤吉さんの1週間をのぞいてみました!

	仕事	プライベート
月	一週間の流れ確認	資格勉強
火	工事工程確認・躯体工事	ゲーム
水	躯体工事	友達とバスケ
木	躯体工事・午後打ち合わせ	ゲーム
金	検査	資格勉強
土	コンクリート工事	友達とご飯
日		友達とサバイバルゲーム



お話すると親しみやすいお兄さんという第一印象に加え、誠実で真面目な方という印象を受けました。また、砕けた質問にも笑顔で答えてくださり、終始和やかに取材をさせていただけました。藤吉さん、ご協力ありがとうございました!

私たちが聞きました!



九州産業大学
芸術学部生活
環境デザイン学科 3年
越智 愛美さん



九州産業大学
商学部商学科 3年
木下 亜望さん